

日本群馬縣 台灣展



蔡玉珊參展作品目錄

展出日期 2014 年 8 月 2 日至 9 月 1 日



GUNMA PREFECTURE

1-1-1 Ote-machi, Maebashi, Gunma 371-8570, JAPAN (027)223-1111

蔡 玉珊 女士

值此中秋佳節秋高氣爽之節、首先祝您身體健康！

感謝您為前日在群馬縣庁舉辦的「台灣交流展」提供了台灣原住民的編織物品。

群馬縣和台灣的台中市、彰化縣、高雄市都有友好協定，在觀光，教育等領域都有廣泛的交流。

这回為了讓群馬縣民更好的了解台灣所以舉辦了這次展覽。在您的協助下我們迎來了許多的參觀者让更多的人了解了台灣的魅力。在此再次向您表示衷心的感謝！


最後再次祝您身體健康，工作順利！

2014年9月10 日

群馬県企画部国際戦略課長

佐藤武夫

刺繡布片

 <p>(1)</p>	<p>排灣族 煙草袋局部 重製作品裝裱後尺寸： 26.5cm x33.5cm</p>	<p>技術：十字繡</p>
 <p>(2)</p>	<p>布農族 盛裝衣服的裝飾局部 重製作品裝裱後尺寸： 40.5cm x32.5cm</p>	<p>技術：十字繡、 直線繡</p>
 <p>(3)</p>	<p>卑南族 女子長裙局部 重製作品裝裱後尺寸： 32.5cm X 35.5cm</p>	<p>技術:十字繡 附註: 原女裙是台東卑南鄉 孫貴花女士所製作。 其子孫大川先生曾任 行政院原住民委員會 主任委員。</p>
 <p>(4)</p>	<p>阿美族 女子頭巾局部 重製布片尺寸（未裝裱）： 40cm x 39cm</p>	<p>技術：直線繡</p>
 <p>(5)</p>	<p>排灣族 盛裝衣服的裝飾局部 重製布片尺寸（未裝裱）： 34cm x 27cm</p>	<p>技術：十字繡 附註: 以上五件刺繡作品由 蔡琬珠女士完成。</p>

實驗試織小布片

這些布片雖小但能顯示出台灣原住民各族的高超的織紋結構技術與圖案設計能力。這些小布片均未裝裱。



(6)



(7)



(8)

試織小布片：

左：賽夏族盛裝局部

中：排灣族喪巾局部

右：布農族盛裝局部

左 尺寸：20.5cm x 4.5cm

中 尺寸：13cm x 6cm

右 尺寸：7cm x 9cm

技術：梭織



(9)



(10)

試織小布片：

左：卑南族殘片

右：魯凱族女盛裝局部

左 尺寸：11cm x 9cm

右 尺寸：11.5 cm x 20cm(含
鬚線長度)

技術：梭織



(11)



(12)



(13)

試織小布片：

上左：賽德克族「米粒織」
披巾局部

上右：泰雅族盛裝局部

下：雅美（達悟）族上衣局
部

上左 尺寸：10.5cm x 14cm

上右 尺寸：9cm x 11cm

下 尺寸：14cm x 7cm

技術：梭織

 <p>(14) (15)</p>	<p>試織小布片：</p> <p>左：卑南族後敞褲局部 右：平埔族腰帶局部</p> <p>左 尺寸：14cm x 20cm 右 尺寸：18cm x 15cm(展出時鬚線可摺至布片背面)</p>	<p>技術：梭織</p>
 <p>(16) (17)</p>	<p>試織小布片：</p> <p>左：阿美族腰帶局部 右：賽德克族織物</p> <p>左 尺寸：32cm x 5cm 右 尺寸：8cm x 10cm</p>	<p>技術：梭織</p>
重製梭織布		
 <p>(18)</p>	<p>平埔族 (未裝裱)</p> <p>平埔/巴則海族的木柵草織花短上衣局部</p> <p>尺寸：22.5cm x 72cm</p>	<p>技術：梭織</p>
<p>← 經向</p>  <p>(19)</p>	<p>泰雅族 (未裝裱)</p> <p>泰雅宜蘭南澳群織布</p> <p>尺寸：16.5cm X 70cm(不含尾端線鬚)</p>	<p>技術：梭織</p>

 <p>(20)</p>	<p>排灣族（創作） （未裝裱） 參考排灣族裙子圖案 尺寸：36cm x 31cm</p>	<p>技術：梭織＋刺繡＋珠繡</p>
 <p>(21)</p>	<p>泰雅族 （未裝裱） 苗栗北勢群披巾局部 尺寸：27cm x 145cm（含兩端線鬚）</p>	<p>技術：梭織</p>

「尋回台灣原住民失傳的織物珍寶」專書一本



蔡玉珊織布過程圖檔



平埔族 (23)



卑南族 (24)



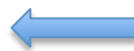
賽夏族 (25)



排灣族（創作） (26)



27/28 布農族盛裝



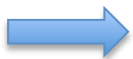
33 卑南族後敞褲



29/30 泰雅族盛裝



31/32 阿美族盛裝



台湾原住民の織物について

台湾原住民の使用している織物組織は工業製品ほどパターンが多くありませんが、各部族の伝統的な晴れ着の織物はかなり技術が高度化し、優れた手織物になっています。一般的な組織には平織、斜文織、及び両者を応用したもの、組み合わせたものなどがありますが、まれに両面織を見ることもできます。デザイン面では糸自体の文様を活かしながら、特経夾織、特緯挑花及び図形の組み合わせによって文様を表しています。

伝統的に、原住民は分離式の経巻具、緯打具、綜統及び背負いベルトからなる織機で織ります。道具は簡単なものではありますが原住民たちは巧みに操ります。一般的な織機には経糸の密度をコントロールするものがなく、また緯糸を打ち込むとき力強く打ち込むものですから、原住民の織物は一般的に密度が高く、頑丈にできています。特に緯糸の密度の高い断緯夾織及び経糸の密度の高い顕経効果は、コンピューター制御の織機では到底表現できないものです。

博物館所蔵の美しい祭祀用織物を分析すると、これらの織物は緻密な設計に基づいて長期間かけて織られたものであることがわかります。経験豊富な織り手たちと辛抱強さがなければ完成できないものです。しかし、これらの高度な技術は、記録するための文字がないことと日本統治時代に禁止されたことで失われました。近年になって、専門家の弛まぬ研究と分析によって、少しずつ再現できるようになりました。

台湾原住民の伝統衣裳の色彩は赤、白、黒の三色を基調とし、飾り付けに他の明るい色彩を使用することもあります。デザイン面において、世界各地の先住民同様、台湾の原住民も縦、横、及び幾何学模様の組み合わせを使用するのが一般的で、円形のものはそれほど多くはありません。台湾原住民の織物は外見上、規則性、控えめ、質素、力強さなどの特徴が見られます。素材面では、かつて、樹皮や動物の毛皮、一部装飾用として貝殻が使われたほか、現地で採れた苧麻の繊維をとり、撚りをかけて織ったものがほとんどです。17世紀以降、外国との交易によってウールや木綿が手に入るようになってから、素材面に変化が見られるようになりました。ただ、当時貴重品とされていた毛糸の使用は一部の装飾文様に限られていました。また、染色に使用する植物の代表的なものは赤茶色のソメモノイモで、ほかにウコン、檳榔の実、ログウッド、バナナの液、木イチゴなどもよく使われました。

台湾原住民の各部族とも、それぞれの特徴や伝統衣裳があります。ここに展示している作品は、筆者の研究によって復元製作したものです。台湾原住民の優れた織物技術の一端を表すことができればと願っています。

蔡玉珊

台灣原住民織布簡介：

台灣原住民所使用的梭織結構，雖不如工業織品有那麼多樣，但各族經典盛裝的結構技術卻發展得相當成熟與深入；常見的組織有平紋、斜紋和兩者的變化組織、混合組織以及極少見的雙面組織。在裝飾方面除了應用織紋本身的紋樣外，主要以特緯夾織、特經挑花還有組合圖案的方式來表現圖案。

原住民傳統上以分離式的經箱、經軸、綜統棒和背帶所組成的織機織布，工具雖然簡單，但使用上卻相當靈活。台灣原住民的傳統織機不具有控制經線密度的梳箱，織女在打緯時又頗具力道，故原住民的織物普遍都很緊密、結實；其高緯密的斷緯夾織及極高經密的顯經效果都無法以一般自動化的織機來取代織造。

從分析博物館所珍藏的一些美麗祭典用布，可以發現其設計規劃縝密且織做的工程相當浩大，若非有豐富的經驗和耐性絕對無法成事，然而這些高階的技術也因過去缺乏文字和遭遇日據時代的禁織而導致失傳。如今透過專業的分析與研究重製，已一件件地又將織物珍寶重現。

台灣原住民的傳統服裝色彩普遍以紅、白、黑三色為主，但或多或少也帶有其他亮麗色彩作為點綴。圖案設計方面，台灣和世界其他許多部落民族一樣，都以單純的直、橫線條或幾何造型的組合最為普遍，但較少見到圓形。台灣原住民織物外觀普遍都帶有秩序、含蓄、樸實、堅韌的力與美的特質。材質方面，過去除了使用動物的皮毛還有局部裝飾性的貝殼之外，傳統上採用當地生產的苧麻，取其纖維撚線後織之；自十七世紀開始與外族交易，取得了外來的毛線和棉線之後，衣服的材質逐漸也有了轉變，當時珍貴的毛線僅被使用在局部的裝飾圖案中。台灣早期的染色原料中使用最多的染色植物以赤褐色的薯榔最具代表性，其他的自然原料還有泥染、姜黃、檳榔果實、蘇木、芭蕉汁、桑實等，都是台灣常見的染色植物。

台灣原住民各族都有屬於自己特色和代表性的服裝，展出作品是筆者研究後的手工重製織布，希望能呈現台灣原住民精彩的織布技藝。

蔡玉珊 撰文

蔡玉珊(TSAI YUSHAN)プロフィール

台湾出身。台湾の大学で美術科を専攻し、卒業後 1979 年パリに渡り 14 年間滞在し、その間、1983 年に優秀な成績でパリ国立高等装飾芸術学院の織物科を卒業。更に 1984 年、フランス国立織物芸術研究所（現・国立高等工業創造学院）に進学し、複雑なジャカード機技術や工業織物デザインを学ぶ。卒業後、織物教授のジュヌビエーブ・デュプー夫人（Mme. Genevieve Dupeux）が主導する織物研究室で織物デザイナーとして、主にフランスのルノー自動車会社の座席シートの織物設計や特殊材料を使った織物の実験を 5 年間担当。その後、個人的に、織物芸術の分野を発展させ、「中国の音楽」「書道」「チベットの印象」など中国文化を題材とした多数の作品で受賞。1992 年、東京で「日本ファッション基金」が主催した米、英、仏、独、伊、日 6 か国の国際織物デザインコンクールに、フランス代表として「立体のウール織物」を出品し、最終選考で見事に「尾州賞」を獲得。

1993 年に台湾帰国後、台湾原住民の伝統的な高級織物技術が失われつつある現状を痛感し、15 年前から原住民のタイヤル族、パイワン族、ブヌン族、アミ族など 13 族の織物技術を研究。それぞれの族の代表的な織物作品を再現。2012 年夏、台北市士林区にある順益台湾原住民博物館で約 100 点の再現作品を展示すると共に「失われた台湾原住民の宝を探し出す」を出版。

現在、台湾新台北市新莊区にあるカトリック輔仁大学の織物服装科準教授。

著作：「カード布帛—技術と創作」（1988）

「布帛技術と織物模様分析」（2000）

「台湾原住民織物—織物模様構造と図案分析（泰雅族編）」（2006）

「失われた台湾原住民の宝を探し出す」（2012）

蔡玉珊氏の台湾の原住民に関する研究情報は次の URL を参照。

<http://www.tribaltextiles.info/community/viewtopic.php?f=3&t=2305>



日本群馬縣政府主辦

展 出 明 細

	族別	技術分類	分析原物件
1	排灣	刺繡	煙草袋
2	布農	刺繡	盛裝（儀禮裝）
3	卑南	刺繡	女子長裙
4	阿美	刺繡	女子頭巾
5	排灣	刺繡	盛裝衣服的裝飾（儀禮裝）
6	賽夏	梭織	盛裝（儀禮裝） [小布塊]
7	排灣	梭織	喪巾織布（儀禮裝） [小布塊]
8	布農	梭織	盛裝（儀禮裝） [小布塊]
9	卑南	梭織	卑南族殘片 [小布塊]
10	魯凱	梭織	女子盛裝（儀禮裝） [小布塊]
11	賽德克	梭織	披巾（儀禮裝） [小布塊]
12	泰雅	梭織	盛裝（儀禮裝） [小布塊]
13	雅美	梭織	盛裝（儀禮裝） [小布塊]
14	卑南	梭織	後敞褲（儀禮裝） [小布塊]
15	平埔	梭織	盛裝腰帶（儀禮裝） [小布塊]
16	阿美	梭織	腰帶 [小布塊]
17	賽德克	梭織	布塊 [小布塊]
18	平埔	梭織	木柵草織花儀禮裝（儀禮裝）
19	泰雅	梭織	裝飾織布
20	排灣	梭織 + 刺繡 + 珠繡	個人演繹創作
21	泰雅	梭織	披巾（儀禮裝）
22	『尋回台灣原住民失傳的織物珍寶』專書一本		
23	蔡玉珊織布過程圖一 平埔族（圖檔）		
24	蔡玉珊織布過程圖二 卑南族（圖檔）		
25	蔡玉珊織布過程圖三 賽夏族（圖檔）		
26	蔡玉珊織布過程圖四 排灣族風格創作（圖檔）		
27~33	輔仁大學 織品服裝學系/ 中華服飾文化中心 提供圖檔		